

STORY

函館の街にひっそりと佇む古い西洋風アパート翡翠館。オーナーの萩原時子は、翡翠館を仕事場兼居住スペースとして貸し出し、若い才能を後押ししている。装飾ガラスの職人を目指す堀池一子、ティンペアアーティストの相澤幸太郎、ピンホールカメラ専門の写真家藤村佐和。それぞれが自分の居場所を探し求めながら、明日への不安の中で生きていた。夏のある日、入居予定だった家具職人藪下の代わりに松山英二が突然やってくる。古本屋を



松山 英二
(黄川田 将也)



相澤 幸太郎
(中島 トニー)



堀池 一子
(片岡 礼子)



藤村 佐和
(AZUMI)

始めると言いながら彼には隠していることがあった。それは若き日に自身が描いた小説「不完全な月」以降、思うような作品が書けず苦悩する小説家としての姿だった。我が子と二度と会えない一子、故郷を遠く離れた相澤、対人恐怖症の佐和。心に小さな棘が刺さったままの住人たち。松山は、住人たちとのふれあいの中で徐々に自分を見失っていく。何も生み出さない自分への怒りと焦り。松山は止まったままの時間を動かすように、蔵の中に眠っていたオートバイの修理をはじめめる…。

出演

黄川田将也 片岡礼子 Azumi 中島トニー
あがた森魚 夏樹陽子

監督

西尾 孔志

映画を紡ぎ出す街・函館。

この街には、言葉にできない時間が、静かに流れている。函館港イルミネーション映画祭から新たな物語がはじまる。

シナリオ大賞映画化プロジェクトの第一弾は、函館の街の中に佇む翡翠館に集う若者たちの出会いと葛藤を見事に描きだし2013年度函館市長賞を射止めたという菜のはの本作。監督は、『ソウルフラワートレン』の新鋭 西尾孔志、主演は黄川田将也、函館の翡翠館に集まる若者たちには、片岡礼子、中島トニー、そして元 wyolica のボーカル Azumi が映画初出演し、主題歌を担当。カフェのマスターには映画祭のディレクターあがた森魚、翡翠館の主人にはベテランの夏樹陽子が務めます。誰もが通り過ぎるひと時の決断を、時にはほろ苦く、甘酸っぱく、まるで珈琲のような映画が誕生しました。



ひとりほっちの季節…
この街で
やさしい時間に
出会った

函館珈琲

HAKODATE Coffee

“映画を創る映画祭”発・シナリオ大賞映画化プロジェクト始動!

2016年9月24日(土)より全国公開

©HAKODATEproject2016

函館ロケ地マップ

はこだてフィルムコミッション事務局

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
(事務局:函館市観光部2F ンション推進課内)

www.hakodate-fc.com

Tel 0138-21-3326